



<報道関係各位>

2020年12月16日  
株式会社 QPS 研究所

**2020年12月19日(土)～福岡市科学館企画展「What's AI?」にて開催の  
「SPACE ENGINEERING SCHOOL ～宇宙エンジニアになろう～」  
エンジニアリング講座の予約受け付け中です！**

「宇宙の可能性を広げ、人類の発展に貢献すること」を使命に2005年に創業した株式会社 QPS 研究所（福岡県中央区、代表取締役社長 CEO：大西俊輔、以下 QPS 研究所）は、2020年12月19日（土）～2021年2月23日（火・祝）まで開かれる福岡市科学館（福岡市中央区六本松 4-2-1）企画展「What's AI? -AI ってなんだろう-」にて開催予定の「SPACE ENGINEERING SCHOOL ～宇宙エンジニアになろう～」での冬休み期間、週末のエンジニアリング講座の予約受付を開始いたしました。

SPACE スペース  
ENGINEERING エンジニアリング スクール  
SCHOOL QPS研究所  
～宇宙エンジニアになろう～

九州の力を集結した  
人工衛星がやってくる

2020 12.19 - 2021 2.23 火祝  
9:30-17:30 (最終入場 17:00)  
休館日：火 12/29・1/5・2/23は開館 12/31・1/1は休館  
イベント内容は、追加・変更する場合がございます。

<QPS 研究所企画詳細>

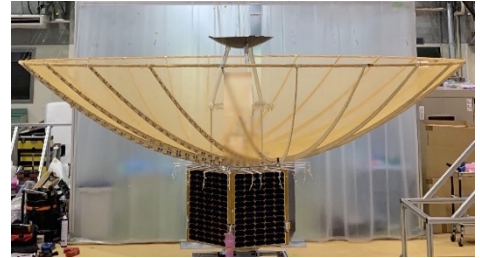
タイトル：「SPACE ENGINEERING SCHOOL ～宇宙エンジニアになろう～」  
QPS 研究所は、高い技術を持つ九州のトップエンジニア集団と一緒に世界最高水準の人工衛星を開発しています。2025年を目標に36機の小型 SAR 衛星を打ち上げてコンステレーションを組み、世界中のほぼどこでも約10分で地球を観測することができる世界を構築することで、社会の発展と人類の生活の向上に貢献することを目指しています。宇宙にいる衛星の運用、そして衛星から届くデータを素早く活用するために AI 技術は欠かせません。今回の企画展では、人工衛星の実物展示、エンジニアによる先進の宇宙技術の紹介・体験、宇宙産業で使われている AI 事例のご紹介・体感プログラムをご用意します。本展で宇宙技術に触れていただくことで、宇宙エンジニアリングがもたらす未来を考え、楽しんでいただければ幸いです。



## メインコンテンツ詳細：

### ①小型レーダー人工衛星「QPS-SAR」の実物（試験モデル）展示

人工衛星を開発し宇宙へ打ち上げる前に「試験モデル」として同じ型の衛星を製造し、宇宙に行くまでのロケットの振動に耐えられるか、真空でも計算通り動くのかなどの試験を繰り返します。その結果、改良を加えた「フライトモデル」を製造し、宇宙へ打ち上げます。この度、展覧会の目玉展示として、QPS-SAR 1号機の試験モデル実物を展示いたします。



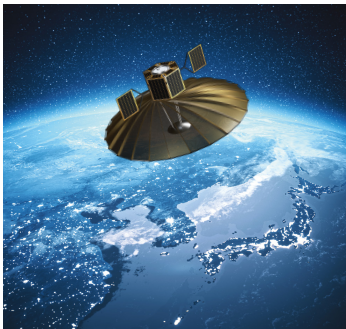
※右写真は QPS-SAR1 号機イザナギのフライトモデルです

### ②“さわれる”人工衛星の部品の展示

展示テーブルの上に実際に使われている人工衛星の部品を開発のポイントの説明とともに、手にとって触れるように展示を行っています。

※新型コロナウイルス感染症対策としてテーブル上の消毒液で前後に手指の消毒をしていただくようご協力をお願いします。また三密を避けるため各テーブルの間を開けています。

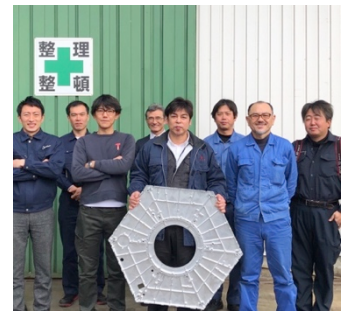
### ③AR で登場する人工衛星と記念撮影しよう！



QPS 研究所の衛星開発・運用の協力会社である株式会社 Fusic（福岡県中央区、代表取締役社長：納富貞嘉）が開発した AR を楽しめるフォトスポット。専用アプリをダウンロードいただき、QPS-SAR1 号機イザナギが宇宙にいる様子のメインビジュアルパネルの前にかざしていただくと、2021 年 1 月以降に打ち上がる 2 号機イザナミが出現します。まもなく実現する、イザナギ、イザナミの 2 機が宇宙にいる様子が AR を通してご覧いただけます。

### ④エンジニアによる 16 種類の講座

開期中、冬休み期間と週末にはエンジニアによる講座を開催いたします。宇宙開発分野の仕事は様々な技術によって支えられています。この講座を受けていただくことで、多くの方に宇宙の仕事を身近に感じ、興味を持っていただければという想いで実施いたします。QPS 研究所の人工衛星開発に関わっているエンジニアの実体験とともに技術や開発の話を知ることができます。



開催場所：企画展示室内スクールゾーン

開始時間：すべて 14:00～

参加方法：予約フォーム (<https://forms.gle/vYGCu5zM5199ragEA>) より事前申し込み制

参加料：無料（企画展示室に入場されている方対象 ※別途企画展入場券が必要です）

定員：各回 18 席（※新型コロナウイルス感染症予防対策のため席の間隔をあけて、飛沫防止アクリルパーテーションを間に設置しています）

詳細 URL：<https://i-qps.net/news/375> すべての講座の詳細をご紹介します。

※それぞれの講座に推奨の対象年齢をいれていますが、お子様の親御様は参加可能です。



## <講座一覧表>

講座名	開催日時・対象	講師
1 宇宙の仕事を学ぼう	12/19 (土) 小学校高学年以上 (推奨)	 株式会社QPS研究所 共同創業者・取締役・研究所長 八坂 哲雄 氏
2 世界の衛星打ち上げ事情	12/20 (日) 中学生以上 (推奨)	 株式会社QPS研究所 代表取締役社長CEO/工学博士 大西 俊輔 氏
3 衛星の運用を体験しよう	12/26 (土) 小学校高学年 (推奨) 1/11 (月・祝) 中学生～高校生 (推奨)	 株式会社QPS研究所 研究員 李 充根 氏
4 AIの気持ちを知ろう!	12/27 (日) 小学校高学年 (推奨) 1/30 (土) 中学生～高校生 (推奨) 2/20 (土) 小学校高学年～ 中学生 (推奨)	 株式会社Fusic 先進技術部門 機械学習チーム 石橋 龍 氏
5 手作りアンテナで テレビを映してみよう	12/28 (月) 小学校高学年 (推奨)	 株式会社マイクロラボ 代表取締役社長 時藤 勉 氏
6 自分の衛星をエンジニアと一緒に 考えよう	12/29 (火) 小学校高学年 (推奨) 1/4 (月) 中学生～高校生 (推奨)	 NPO法人円陣スペースエンジ ニアリングチーム (e-SET)
7 ものづくりに必要な技術を体験しよう	12/30 (水) 小学校高学年 (推奨) 2/7 (日) 中学生～高校生 (推奨)	 NPO法人円陣スペースエンジ ニアリングチーム (e-SET)
8 宇宙で使える素材を知ろう	1/3 (日) 小学校高学年 2/14 (日) 中学生～高校生(奨)	 NPO法人円陣スペースエンジ ニアリングチーム (e-SET)
9 ロケットの振動にも耐える強い 構造づくりを考えよう	2/6 (土) 小学校高学年 (推奨) 2/13 (土) 中学生～高校生 (推奨)	 NPO法人円陣スペースエンジ ニアリングチーム (e-SET)
10 宇宙でも動くバネのしくみについて 知ろう	1/24 (日) 中学生～高校生 (推奨) 1/31 (日) 小学校高学年 (推奨)	 峰勝鋼機株式会社 東口 公俊 氏
11 衛星のアンテナについて考えよう	1/6 (水) 小学校高学年 (推奨)	 株式会社QPS研究所 研究員/工学博士 福田 大 氏
12 人工衛星を支える電気のしくみ	1/9 (土) 中学生～高校生(推奨) 2/21 (日) 小学校高学年 (推奨)	 株式会社昭和電気研究所 古賀 圭 氏
13 AIが活躍する宇宙ミッションを 設計してみよう	1/10 (日) 中学生～高校生 (推奨) 2/23 (火・祝) 小学校高学年 (推奨)	 株式会社QPS研究所 研究員/工学博士 上津原 正彦 氏
14 人工衛星に使われている電池の秘密	1/5 (土) 中学生～高校生 (推奨) 1/16 (土) 小学校高学年	 株式会社QPS研究所 研究員 北村 広樹 氏
15 衛星がロケットで打ち上がるまで のストーリー	1/17 (日) 小学校高学年以上 (推奨)	 株式会社QPS研究所 代表取締役社長CEO/工学博士 大西 俊輔 氏
16 宇宙エンジニアの仕事に大切なこと	1/23 (土) 小学校高学年 (推奨)	 株式会社QPS研究所 研究員 古賀 洋平 氏

- ※ 状況により日時変更、また、内容は中止・変更する場合がございます。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当日はマスク着用、手指の消毒のご協力をお願いします。講座の前に検温させていただきます。検温の結果、37.5℃以上の発熱が確認された場合、ご参加をお断りさせていただきます。体調のすぐれない方はご来場をお控えください。
- ※ 福岡市科学館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策はこちらをご覧ください。  
<https://www.fukuokacity-kaqakukan.jp/news/2020/10/1031-2.html>
- ※ 展覧会ご参加者にはマスク着用と接触確認アプリ (COCOA) のインストールをお願いします。各種プログラム運営は各機関からの新型コロナウイルス感染拡大防止の為に最新情報をもとに、感染予防・拡散防止に努めて参ります



## <福岡市科学館企画展「What's AI? -AIってなんだろう-」詳細>

開催期間：2020年12月19日(土)～2021年2月23日(火・祝)

会場：福岡市科学館3階企画展示室

プログラミング的思考が学校教育に取り入れられるなど、ロボット技術やAI技術はどんどん発展し、生活の中で触れる機会が増えましたが、AIとは一体なにかを問いかける展覧会です。企画展の中では、鉄腕アトムのようにロボットと共生する世界や、人工衛星に活用されている様々な技術を知ること、私たちは最先端技術をどのように受け入れ、活用し、これから先の未来をどのように創造していくのかを考えていきます。3階企画展示室では科学技術の進歩と人間の心の成長を考える「鉄腕アトム ロボットと暮らす未来展」とQPS研究所の「SPACE ENGINEERING SCHOOL ～宇宙エンジニアになる～」の2つが同時開催となります。



### 「SPACE ENGINEERING SCHOOL ～宇宙エンジニアになる～」企画

協力：一木エンジニアリング、(株)エルム、(有)カネクラ加工、(株)昭和電気研究所、ナカジマ技術、(株)Fusic、(株)マイクロラボ、峰勝鋼機(株)、NPO法人円陣スペースエンジニアリングチーム(株)石井熱錬、(株)ウメダ、オガワ機工(株)、木曾一雄、田中特殊金型製作所、(有)津留崎製作所、(有)テックACS、(有)馬場鉄工、(有)松原産業、マルナカゴム工業、(株)睦美化成、(株)村井工機、保坂真紀(おそらのぞうさん)

### <福岡市科学館について>

九州大学六本松キャンパス跡地再開発で注目されたJR九州の商業施設内に建設され、2017年10月開館。JAXA若田光一宇宙飛行士が名誉館長。オープン当初から県内・外の注目を集め、オープンから8ヶ月で想定より早く利用者数が100万人、2019年10月に250万人を突破。参加体験型の展示やサイエンスショーなどを楽しめる基本展示室や、ドームシアター(プラネタリウム)など、子どもから大人まで楽しみながら学ぶことができる施設です。



### <株式会社QPS研究所について>

株式会社QPS研究所は九州の地に宇宙産業を根差すことを目指して、2005年に九州大学名誉教授の八坂哲雄と桜井晃、そして三菱重工業株式会社のロケット開発者であった船越国弘により創業されました。QPSとは「Q-shu Pioneers of Space」の頭文字を取っており、九州宇宙産業の開拓者となること、更には九州の地より日本ならびに世界の宇宙産業の発展に貢献するとの思いが込められています。その名の通り、九州大学での小型人工衛星開発の20年以上の技術をベースに、国内外で衛星開発やスペースデブリの取り組みに携わってきたパイオニア的存在である名誉教授陣と若手技術者・実業家が一緒になって、幅広い経験と斬新なアイデアをもとに、宇宙技術開発を行っています。また、QPS研究所の事業は、創業者たちが宇宙技術を伝承し育成してきた約20社の九州の地場企業に力強く支えられています。



プレス関係の方のお問い合わせ先  
株式会社QPS研究所 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-15-35 レンゴー福岡天神ビル 5階  
担当名：有吉 Email: [y.ariyoshi@i-qps.com](mailto:y.ariyoshi@i-qps.com)